

スローライフ心掛けて

豊橋で宗田さん
伊藤さんが講演
村井弦斎の紹介も

スローライフ、スロー
フードを理解しよう。
豊橋ふるさと大使で作家
・宗田理さん(78) 〓名
(48) 〓豊橋市〓のショ
吉屋市〓と、飲食業経営
者でシニアソムリエとし
て活躍する伊藤篤哉さん
イント講演会が、このほ
ど市内大山町の豊橋ハー
トセンターホールで開か
れた。

郷土の偉人の生き方を熱く語る伊藤さん

〓豊橋ハートセンターで



宗田さんが今年1月か
らスタートさせた特別イ
ベント。3回目の今回は
「ゆるやかに生きよう」
をテーマに、2氏から話
を聞いた。鈴木孝彦院長
が「せっかちは健康に良
くないので、毎日の生活
を反省しスローライフを

心掛けたい」とあいさつ。
宗田さんは、「日本人
はせっかちで、時間はた
っぷりあるのにセカセカ
と忙しそうなが多い。
渋滞ではイライラし食事
もあつと言つ間」と、現
代人の生活にメスを。
そうしたスピードライ
フは、果たして人間に良
いことか。昔のように
ゆっくり暮らし、ゆつた
り生きることが本来の生
き方ではないか」と話し
た。

続いて伊藤さんは、「最
近話題のスローフードの
意味は、ゆっくり食事を
することではありませ
ん」と前置き。スローフ
ード運動は、北イタリア
の小都市から発祥し世界
に広がった。目的は①消
滅しそうな伝統食材、料
理、食品を守る②質の良
い食材を提供する小生産
者を守る③消費者、子ど
もに味の教育を推進」と
説明した。

さらに「皆で認識、実
践しスローシティーを自
指せば、豊橋は魅力的な
街になるはず」とも述べ
た。また、豊橋出身で明

治年代に作家、翻訳家、
料理研究者として活躍し
た村井弦斎の紹介も。

弦斎は幕末、吉田(現
豊橋)に生まれた。祖父
は吉田藩の重役で儒学
者。父は漢学者で藩校の
先生を。維新後の明治5
年に一家は上京。

11歳で現東京外大に入
学。のち私費でアメリカ
留学し栄養、衛生学など
も学ぶ。帰国後、早稲田
大前身の東京専門学校を
経て報知新聞社に入社。
記者をしながら創作活動
に励み小説を発表。19
27(昭和2)年、63歳
で没するまで特に食の探
求に没頭。代表作に「食
道楽」「近江唄人」「日
の出島」がある。

弦斎については地元で
も知らない人が多く、伊
藤さんは故人の関係資
料、著書なども多数収集。
郷土の偉人の生き方、考
え方からスローフードや
スローライフの重要性を
説いている。この日も大
勢の聴講者たちが、興味
深く熱心に話を聞いてい
た。

(星野のりこ)